

令和9年度概算要求における宇宙関係予算

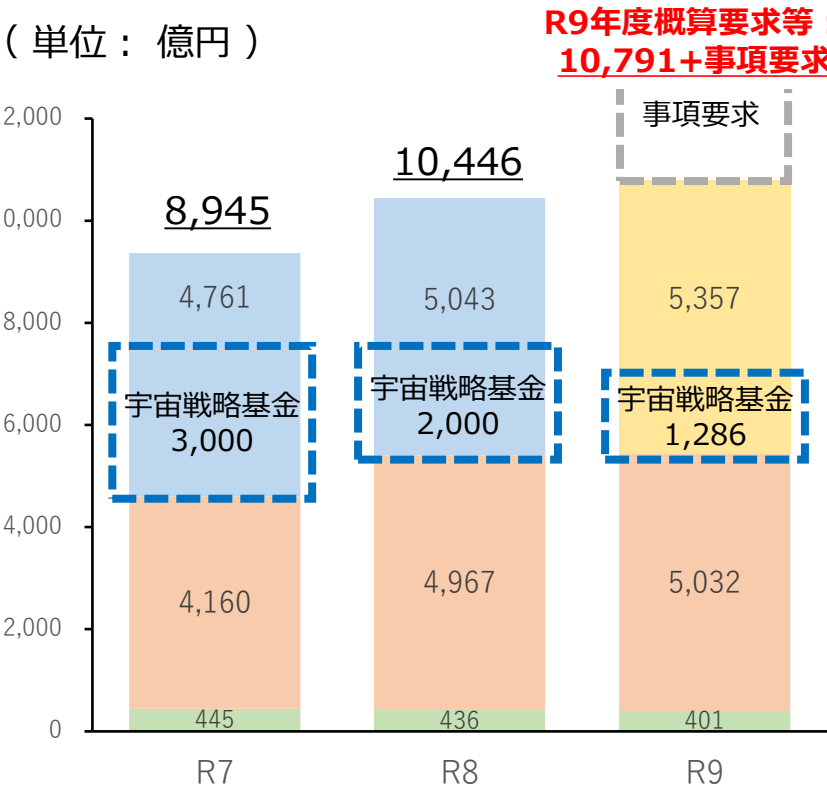
令和9年度概算要求等

1兆 791億円（+事項要求）

うち「強く豊かな日本」投資枠 5,357億円

（令和8年度当初予算+令和7年度補正予算等 1兆 446億円）

（単位：億円）



- 補正予算（R6、7）
- 当初予算（R7、8） / 要求・要望枠要求額（R9）
- 「強く豊かな日本」投資枠
- 基金関係執行予定額

府省名	R9要求等計 (事項要求除く)	(※) 別途事項要求あり				前年度計			
		要求・要望枠	投資枠	R9基金関係執行予定額	対前年度予算比		R7補正	R8当初	R8基金関係執行予定額
1. 内閣官房	1,833	617	1,216	-	+ 93%	950	328	622	-
2. 内閣府	1,123	259	863	-	+ 178%	404	190	214	-
3. 警察庁	9	9	0	-	+ 0%	9	0	9	-
4. デジタル庁	0	0	0	-	- 60%	0	0	0	-
5. 防災庁	11	9	2	-	-	-	-	-	-
6. 総務省	529	108	421	-	- 72%	1,911	1,825	87	-
7. 外務省	12	3	9	-	+ 59%	8	5	3	-
8. 文部科学省	3,949	2,076	1,674	199	+ 21%	3,252	1,555	1,518	179
9. 農林水産省	136 (※)	41	95	-	-	135	100	35	-
10. 経済産業省	1,223	2	1,018	203	+ 2%	1,196	886	53	257
11. 国土交通省	251 (※)	191	59	-	-	309	121	188	-
12. 環境省	62	62	0	-	+ 7%	58	3	55	-
13. 防衛省	1,653 (※)	1,653	0	-	-	2,213	30	2,183	-
合計	10,791	5,032	5,357	401	+ 3%	10,446	5,043	4,967	436

注1：四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。
注2：「基金関係執行予定額」として、経済安全保障重要技術育成プログラム（Kプロ）及びSBIRフェーズ3基金のうち宇宙関係のテーマを集計している。
（R8執行予定額：436億円、R9執行予定額：401億円）

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計等：1兆 791億円（+事項要求）

※ 各金額は四捨五入によって算出

【内閣官房】	1, 8 3 3 億円	【農林水産省】	1 3 6 億円（+事項要求）
● 情報収集衛星の開発・運用	1, 8 3 3 億円	● スマート農業技術の開発・供給促進事業	8 8 億円
【内閣府】	1, 1 2 3 億円	【経済産業省】	1, 2 2 3 億円
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	8 7 0 億円	● 宇宙戦略基金（経済産業省計上分）	3 2 9 億円
● 政府衛星等の打上げ役務の戦略的調達	1 7 8 億円	● 経済安全保障に資する宇宙産業の基盤強化 （射場整備/ロケット及び人工衛星の試験施設整備）	6 8 3 億円
● 衛星データ等を活用した船舶警戒監視システム実証調査	3 1 億円	【国土交通省】	2 5 1 億円（+事項要求）
● 土地等利用状況調査のための衛星画像データの収集	2 億円	● 無操縦者航空機の運用等	1 2 8 億円（+事項要求）
【警察庁】	9 億円	● 人工衛星の測量分野への利活用	6 4 億円（+事項要求）
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	9 億円	● 次期静止気象衛星の整備	1 9 億円（+事項要求）
【デジタル庁】	0. 0 2 億円	【環境省】	6 2 億円
● 衛星通信設備	0. 0 2 億円	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	4 6 億円
【防災庁】	1 1 億円	【防衛省】 ※令和9年度歳出予定額を記載	1, 6 5 3 億円（+事項要求）
● 中央防災無線網の運用等	1 1 億円	● SDA衛星2号機の整備	事項要求
【総務省】	5 2 9 億円	● 次期防衛通信衛星等の整備	1 0 億円（+事項要求）
● 宇宙戦略基金（総務省計上分）	4 0 1 億円	● 次期防衛技術実証衛星の開発	1 5 億円（+事項要求）
● 衛星光通信用地上局ネットワーク整備事業	2 0 億円	● 戦術AI衛星の研究	事項要求
【外務省】	1 2 億円	● 画像解析用データの取得	3 0 4 億円（+事項要求）
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3 億円		
● 宇宙技術を活用したASEAN諸国・太平洋島嶼国における 沿岸災害対応力の能力構築	9 億円		
※この他、無償資金協力およびJICA交付金（3, 7 3 8 億円）の一部にて、 グローバルサウスへの宇宙分野に関する援助を実施			
【文部科学省】	3, 9 4 9 億円		
● 宇宙戦略基金（文部科学省計上分）	5 5 6 億円		
● 基幹ロケットの開発・高度化、打上げ高頻度化	2 3 5 億円		
● 技術試験衛星9号機（ETS-9）	7 0 億円		
● アルテミス計画に向けた研究開発等	9 0 4 億円		
うち有人与圧ローバ開発等	2 6 0 億円		
うち新型国際宇宙ステーション補給機（HTV-X）	4 7 8 億円		
うち月面機器開発・実証	8 億円		

※令和9年度執行予定額としてKプロ（文部科学省：5 6 億円 経済産業省：1 7 1 億円）
及びSBIRフェーズ3基金（文部科学省：1 4 3 億円 経済産業省3 1 億円）
の合計4 0 1 億円を計上

宇宙開発戦略推進事務局 令和9年度概算要求

1. 宇宙戦略基金の拡充（総務省、文部科学省、経済産業省と連携）

（R7補正2,000.0億円【総務省：310億円、文科省：950億円、経産省：740億円】）

- 速やかに総額1兆円規模の支援を行うことを目指すとともに、宇宙分野の継続的な発展に向けた、民間投資や宇宙実証の加速、国際競争力につながる特色ある技術の獲得・活用、産業の集積等を促進する観点から、企業や大学等の先端技術開発・技術実証・商業化支援を加速・強化

R9要求 1,286.5億円(3省合計)
※「強く豊かな日本」投資枠：1,286.5億円

2. 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用

（R8当初169.1億円+R7補正171.2億円 計 340.3億円）

- 他国に頼らず測位が可能となる7機体制の早期構築と、バックアップ機能の強化や利用可能領域の拡大が可能になる11機体制の構築を目指し、着手済の衛星開発（2・3・4号機後継機・8号機）の加速や、新たな衛星2機の開発着手、並びに地上設備の開発・整備を進める

R9要求 869.8億円
※「強く豊かな日本」投資枠：644.6億円



準天頂衛星システム
「みちびき」

3. 成長戦略【ロケット・射場】を踏まえた打上げ役務のまとめ調達（新規）

- 複数年度分（概ね5年先まで）の政府衛星等の打上げ役務の調達について、内閣府がまとめて予算要求・執行を行うことで、打上げ事業者への予見可能性向上を通じた民間投資の促進や政府の事務効率化に繋げる

R9要求 177.8億円
※「強く豊かな日本」投資枠：177.8億円

※国庫債務負担行為(R9-13):
限度額 889.0億円

4. 宇宙開発利用推進費等（内閣府に一括計上後、各省に移し替えて執行）

（R8当初23.0億円+R7補正17.7億円 計 40.7億円）

- 衛星・月面関連技術等、各省が連携して戦略的に取り組むべき技術開発を着実に推進

R9要求 16.4億円



月面におけるエネルギー関連技術開発
（無線送電技術開発）

5. 小型SAR衛星コンステレーションの利用拡大に向けた政府調達支援（新規）

- 政府関係機関による小型SAR衛星データの直接調達実現に向け、政府関係機関を試行ユーザとした防災・インフラ点検等の分野での試行利用を実施し、有効性・実用性・課題を評価する。3か年程度にわたって実施し、政府関係機関による調達に繋げる

R9要求 10.0億円
※「強く豊かな日本」投資枠：10.0億円

6. その他（調査、事務費等）

（R8当初13.2億円）

- 司令塔機能強化等に向けた機構・定員拡充等

R9要求 15.5億円

R9要求合計 1089.5億円
※「強く豊かな日本」投資枠：832.4億円
（※宇宙戦略基金(他省庁要求)除く）

参考: R8当初 205.2億円、R7補正 188.9億円
（宇宙戦略基金 R7補正 2,000.0億円(3省計上)）